

# 次期理事長に水上光啓氏が内定

東印工組

## 業態変革に挑戦

### 来年5月の総代会で正式決定

東印工組の次期理事長に現副理事長の水上光啓氏（水上印刷㈱社長、千代田支部）が内定した。十二月二十一日午後二時から日本印刷会館で開かれた次期常任理事推薦委員会（大橋茂議長）で、次期（平成二十一年度）理事長候補者に水上氏を推薦し承認された。来年五月十五日に東京プリンスホテルで開催する平成二十年度総代会で正式決定する。



抱負を述べる水上氏

推薦委員会終了後に開かれた第三回理事会（監事合同）の冒頭あいさつで、浅野理事長が推薦委員会の経過について「推薦委員会は顧問・相談役・参与二十七人、常任理事・常任監事一七人、支部長二十二人の総勢六六人で構成されている。そのうち、本日は五〇人が出席して、次期理事長に水上光啓氏を推薦する結論が出た。私も二期四年務め、業態変革という考え方も概念を理解していただく段階から実

行していただく段階に歩みを急速に進めなければならないと私自身も認識している。そういう時代には大変相応しい人が次期理事長に推薦された」と報告している。

これを受けて、次期理事長候補者に推薦された水上氏は「大変厳しい環境の中で、業態変革をしなければいけない。厳しい環境下、一歩間違えると深遠なスパイラルの中に落ちていくような不安にと

で、われわれは従来の価値観が通用しない時代になってきた。本当に皆で勉強して新しい価値観を探して、その新しい価値観を自社に持ち帰って実行しなければもはや生きられないという時代になってきた。新しい価値観を作るものは、いうまでもなく、われわれが今までずっと勉強してきた、中村守利前会長からつながらる共創ネットワーク、そして業態変革である。これをいつまでも絶えることのない情熱を持って、一緒にチャレンジし続けて、私達の印刷業が、やはり印刷人でもよかったと思える産業になるように一緒に勉強して夢のある業界を作ろう」と抱負を述べた。

なお、今後は水上氏が副理事長候補者および専務理事候補者を推薦、常務理事候補者については当該候補者の所属支部の了解を得て推薦し、推薦委員会の承認を受け、来年五月十五日に東京・芝公園の東京プリンスホテルで開催する平成二十年度総代会で正式に決定する。

長。早大卒。昭和二十六年一月二十五日生まれ。五十六歳。理事支部枠数を確定  
東印工組は、第三回理事会（監事合同）で、平成二十一年度理事候補者推薦に伴う支部枠数を確定した。東印工組の理事定数は定款により、現在一四〇人となっており、慣例により本部推薦枠三五人、支部枠一〇五人とした。支部枠については、理事推薦作業の関係で、この日の理事会で承認された各支部の組合員数により理事数を按分した。その結果、新宿支部が五人から一人増えて六人、板橋支部が五人から一人減って四人になった。その他の支部は変更なし。

で、十二月二十一日現在の組合員数は一七三六社となった。準組合員数は三四社で変更なし。  
平成二十一年度理事支部枠は次のとおり。  
千代田（六）、日本橋（三）、京橋（八）、港（二）、新宿（六）、文京（八）、上野（三）、浅草（五）、墨田（五）、江東（七）、城南（五）、山之手（四）、城西（四）、杉並（三）、豊島（五）、板橋（四）、練馬（三）、北（四）、荒川（五）、足立（四）、墨東（四）、三多摩（三）

水上光啓（みずかみ・みつひろ）氏  
水上印刷㈱代表取締役社長